

WILCOMM

Complete User Manual for:

 **ウィルファイルサービス**

FIL001 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



ウィルファイルサービス（スプールファイル保管サービス）

1.概要

ウィルファイルはスプールファイルを PDF もしくは TXT 形式にてネットワーク上の指定フォルダーに保管する機能を提供します。**V7.15 より AS 側の WilSpool、API の標準機能として追加されました。（OUTQI=アウトキューインターセプターとは未対応です）**

この機能を使用することにより、従来はメールの送受信にて対応していたファイル保管を、直接、指定フォルダーに保存することができるようになります。ファイルの名前付けに関しても API を利用することにより柔軟な対応が可能となります。

【WilSpool 補足説明】

OS400 の WRKSPLF（スプールファイルの処理コマンド）をコピーし、Wilcomm に必要なオプションを付加した機能です。スプールファイルを手動で処理する場合に利用されます。

【API 補足説明】

上記 WilSpool で内部的に使用されているコマンドへプログラミングによりパラメータを渡し、Wilcomm/400 を稼働させる機能です。

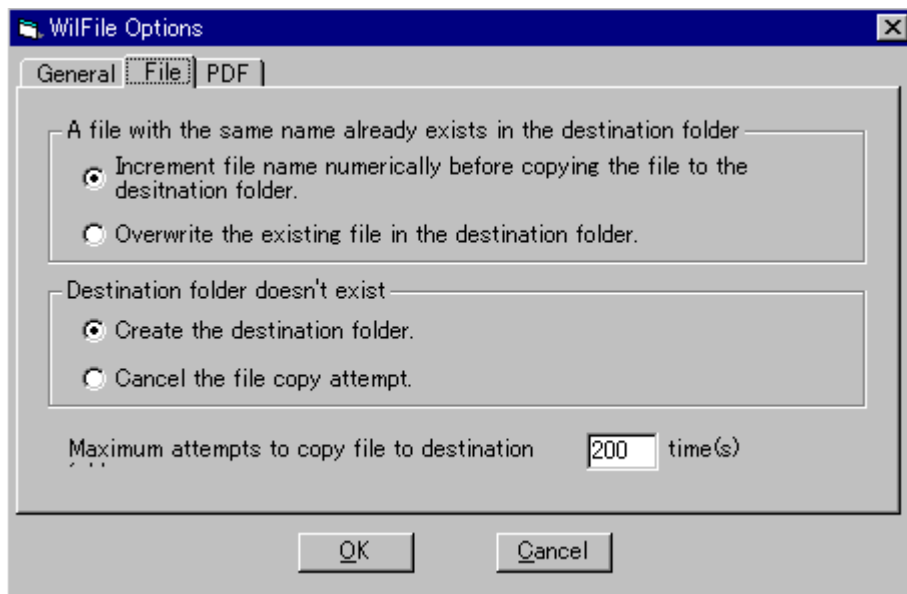
2.設定方法（PC サーバー側）

ウィルファイルは現バージョンでは OUTQI（アウトキューインターセプター）との対応がとれてないためディストリビューションウィザードへの登録は不要（不可能）です。ウィルファイルを起動して既定値のみ設定を行います。詳細については下記をご参照下さい。

（１）ウィルファイルを起動します。



メニューバーよりツール・オプションの順に選択します。
次ページ File というタブを選択し既定値を確認します。



画面上部のウィンドウにてファイルの存在チェックについての設定をします。

☐ **Increment file name numerically.....**

同じファイル名が指定のフォルダーに存在していた場合は自動的にファイル名の最後に番号を付番します。

例：ファイル名、QPRINT.pdf が存在していた場合、新しく保管されるファイルは QPRINT1.pdf という名前となります。

☐ **Overwrite the existing file in the destination folder.**

こちらを選択した場合は、上書き処理されます。

画面下部のウィンドウでは、フォルダーの存在チェックについての指定をします。

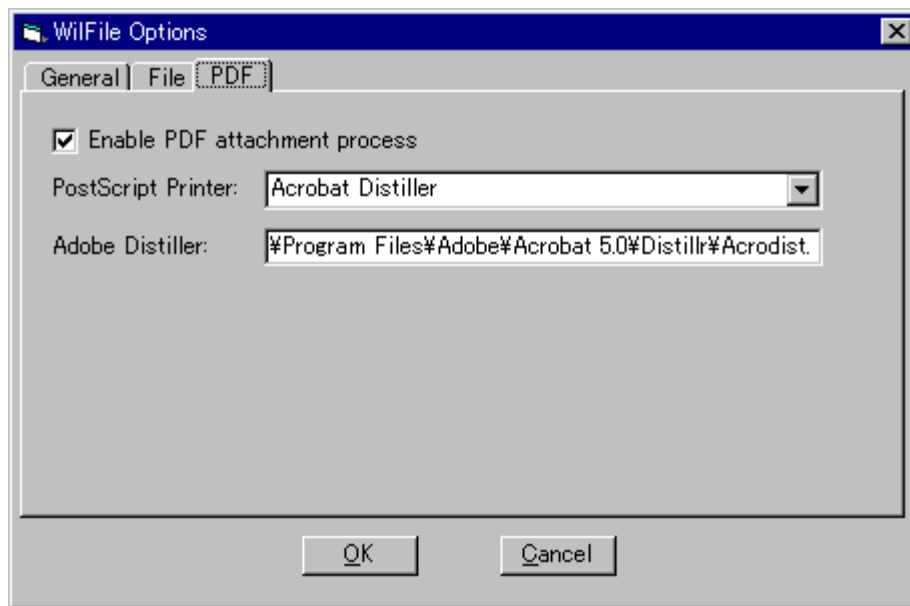
☐ **Create the destination folder.**

指定されたフォルダーが存在しなかった場合、あらたに作成されます。

☐ **Cancel the file copy attempt.**

指定されたフォルダーが存在しなかった場合、該当ジョブをキャンセルしエラーを返します。

次ページ PDF というタブを選択し既定値を確認します。



画面上部のウィンドウにて Adobe Acrobat についての設定をします。

☐ **Enable PDF attachment process.**

PDF ファイルの変換処理を可能にします。

導入時は PDF ファイル変換処理不可（チェックされていません）と設定されています。

Adobe Acrobat が導入済みであることが前提となります。

☐ **PistScript Printer.**

Acrobat Distiller を選択 / 設定します。

☐ **Adobe Distiller.**

Adobe Acrobat を導入したフォルダーの中の Acrodist.exe を設定します。

PC 側での設定は以上です。

3. 設定・操作方法 (AS400 側)

本マニュアルでは WiSpool (ウィルスプール) からの使用方法に限定して説明いたします。
API 経由での使用につきましては、Wilcomm/400 API のマニュアルをご参照下さい。

3 - 1 設定項目

(1) サービスコード

ウィルファイルにはサービスコード (内部使用コード) **WA** が使用されます。

WM : ウィルメール

WF : ウィルファックス

WP : ウィルプリント

WA : ウィルファイル

(2) サブスクライバー

保管したいファイルのフォルダーのパスを指定するために使用します。サブスクライバーを使用せずに手動にて随時指定することも可能です。

(3) ファイルの名前

ファイルの名前は「帳票詳細入力画面」(下記参照) の記述の欄に指定したものが使用されます。

帳票詳細入力			
実行キーで選択が確定されます。			
スプール ID= QPADEV0003/QSECOFR/382574/ACR1000/0001/*STD/ACR100			
記 述	:	FILE NAME	
ファイル方法	:	P - PDF (ACROBAT イメージ フォーマット) T - テキスト (テキスト フォーマット)	
送信ページ範囲		1	1
用紙タイプ		*STD	
F6= カバーページへ戻る			

(4) 送信ファイルの形式

ファイル方法 (P=PDF or T=TXT) にて指定します。

(5) 用紙タイプ

上記オプションにて P=PDF を選択した場合は、このフィールドに PC サーバー上に存在するフォーム名を指定します。

(6) 結合オプション

複数のスプールファイルをひとつのファイル (PDF) に結合する時に指定します。
(下記参照)

ファイル詳細の入力		
サプスクリバ-:		F9 サプスクリバ-ディレクトリ
&/OR フォルダ-:		
宛先:		F4 変更 / 表示
差出人:	機密保護管理者	/REVIEW
件名:		
メッセージ:		
+		
ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー	QSECOFR	
ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容:	S	T= 宛先 TS= 宛先 / 件名 S= 件名 ST= 件名 / 宛先
すべての添付を結合する Y/N: N		
F13-20= 保管 キー ページ 取得 F7= 保管 キー プック		
QPADEV0003/QSECOFR/382574/ACR1000/0001/*STD/ACR100		

3 - 2 WilSpool (ウィルスパール) からの操作

(1) スプールファイルの選択

ウィルスパールの画面 (下記参照) よりスプールファイルを選択し、オプション欄に「 X 」 (= 転送オプション) を入力し実行キーを押します。

QSECOFR		WILSPOOL - スプールファイル送信		10:59AM	1/12/11
				スプールファイル数:	66
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。					
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性					
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル					
		装置 /		合計	
ファイル	ユーザー	待ち行列	ユーザーデータ用紙タイプ	数	日付 時刻
QPJOBLOG	QSECOFR	QEZJOBLOG	QPADEV0004 *STD	3	5/12/01 15:21
SEIKYU1R	QSECOFR	QPRINT	*STD	15	5/12/01 16:07
SEIKYU	QSECOFR	WILPRINTSV	SEIKYU *STD	15	27/11/01 11:12
OFF	QSECOFR	QPRINT	*STD	2	6/12/01 13:42
QPJOBLOG	QSECOFR	QEZJOBLOG	QPADEV0004 *STD	257	6/12/01 14:43
QPJOBLOG	QSECOFR	QEZJOBLOG	QPADEV0004 *STD	2	6/12/01 18:34
QPJOBLOG	QSECOFR	QEZJOBLOG	QPADEV0004 *STD	4	7/12/01 16:50
QPJOBLOG	QSECOFR	QEZJOBLOG	QPADEV0003 *STD	4	7/12/01 18:47
X QPJOBLOG	QSECOFR	QEZJOBLOG	QPADEV0003 *STD	2	10/12/01 11:12
QPSUPRTF	QSECOFR	QPRINT	*STD	1	14/11/01 11:53
ORD5000	QSECOFR	BPCSOUTQ	ORDERS *STD	1	2/12/01 22:3 +

(2) 転送オプションの選択

QSECOFR		WILSPool - スプールファイル送信		10:59AM	1/12/11
				スプールファイル数 :	66
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。					
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性					
9= 印刷状況の処理 Y= 転送オプション M= マップファイル					
ファイル	転送オプション				付 時刻
QPJOBLOG	文字を入力して実行キーを押して下さい。				5/12/01 15:21
SEIKYU1R					5/12/01 16:07
SEIKYU	FAX				7/11/01 11:12
OFF	Eメール				5/12/01 13:42
QPJOBLOG	プリント				5/12/01 14:43
QPJOBLOG	X ファイル				5/12/01 18:34
QPJOBLOG					7/12/01 16:50
QPJOBLOG	F12= 取消し				7/12/01 18:47
X QPJOBLOG	QSECOFR	QEJZJOBLOG	QPADEV0003	*STD	2 10/12/01 11:12
QPSUPRTF	QSECOFR	QPRINT		*STD	1 14/11/01 11:53
ORD5000	QSECOFR	BPCSOUTQ	ORDERS	*STD	1 2/12/01 22:3

上記画面より転送オプション（今回はファイル）を選択し実行キーを押します。

(3) ファイル詳細の入力

ファイル詳細の入力		F9 サブスクライバ-ディレクトリ	
サブスクライバ-:			
&/OR フォルダ-:	C:\TEMP\WILFILE		
宛先 :	F4 変更 / 表示		
差出人 : M.NABATAME	/REVIEW		
件 名 : WILFILE TEST			
メッセージ :			
+			
ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー	QSECOFR		
ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容 :	S	T= 宛先	TS= 宛先 / 件名
		S= 件名	ST= 件名 / 宛先
すべての添付を結合する	Y/N: N		
F13-20= 保管 キー ページ 取得	F7= 保管 キー プック		
QPADEV0003/QSECOFR/052813/QPJOBLOG/0003/*STD/QPADE			

サブスクライバ-を使用してパスを指定する場合は「F9」（=サブスクライバ-ディレクトリ）を押して該当のサブスクライバ-を選択します。直接指定する場合は上記のように&/OR フォルダ-の欄にパスを入力します。

件名に入力された値はAS400 メッセージリスト上の件名の欄に表示されます。

(4) 帳票詳細入力

帳票詳細入力

実行キーで選択が確定されます。

スプール ID= QPADEV0003/QSECOFR/052813/QPJOBLOG/0003/*STD/QPADE

記 述 : WILCOMM

ファイル方法 : P P - PDF (ACROBATイメージ フォーマット)

T - テキスト (テキスト フォーマット)

送信ページ範囲 1 2

用紙 タイプ [STD132](#)

F6= カバーページへ戻る

記述の欄にファイル名を入力します。

用紙タイプには PC サーバー上に存在するフォーム名を指定します。

Wi lSpool (ウィルスプール) 経由でオーバーレイを使用する場合は、フォーム名と同じマップ名が PC サーバー上に存在している必要があります。

複数のスプールファイルをそれぞれ、PDF、TXT のような別々の形式で処理することも可能です。

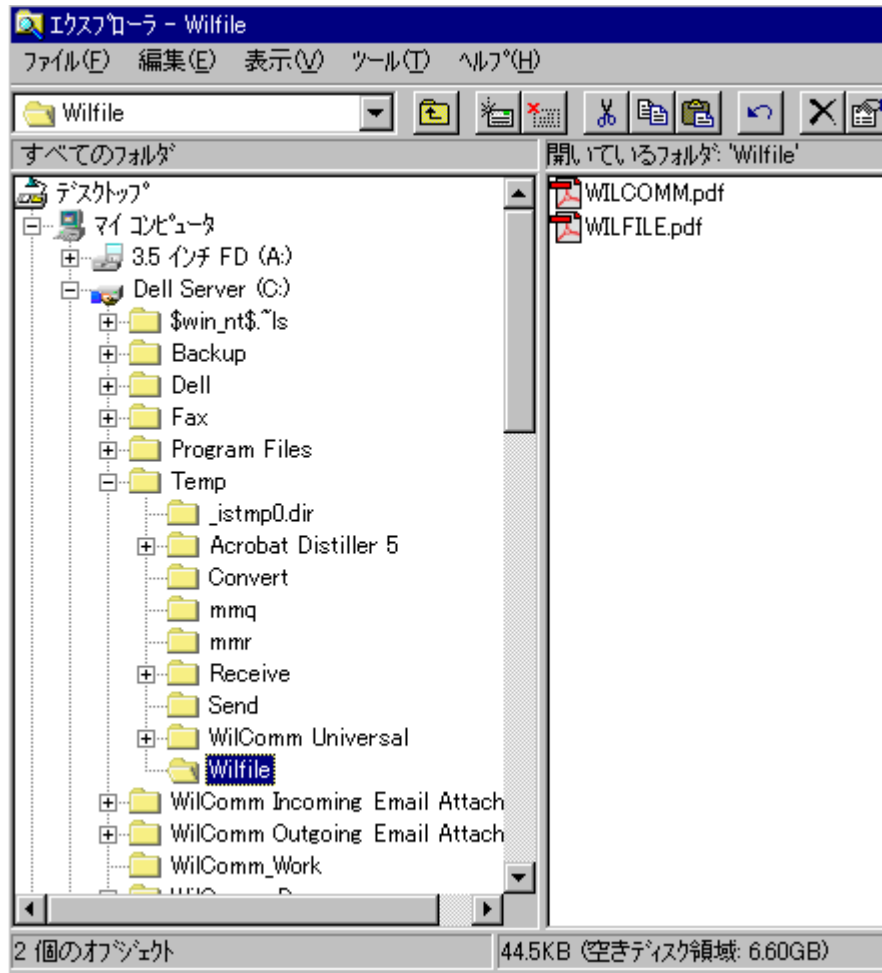
実行キーで、Wi lSpool (ウィルスプール) の画面に戻ります。(複数のスプールファイルを選択した場合は、選択した回数分、上記画面が表示されます。)

(5) WiSPool (ウィルスプール) 転送

QSECOFR		WILSPOOL - スプールファイル送信			11:47AM	1/12/31
					スプールファイル数 : 122	
オプションを打鍵して , 実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
					合計 ページ	
ファイル	ユーザー	装置 / 待ち行列	ユーザーデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
ACR1000	QSECOFR	MIXSV	ACR100	*STD	1	31/10/01 15:06
INV100	QSECOFR	MIXSV	INV100	*STD	2	6/11/01 9:59
INV100	QSECOFR	MIXSV	INV100	*STD	2	6/11/01 10:00
ACP5000	QSECOFR	MIXSV	ACP500	*STD	1	7/11/01 15:07
ACP1500	QSECOFR	MIXSV	ACP150	*STD	1	28/11/01 17:04
ORD5000	QSECOFR	MIXSV	ORDERS	*STD	4	28/11/01 17:30
INV500	QSECOFR	NABASV	INV500	*STD	1	30/10/01 13:19
QPJOBLOG	QSECOFR	MIXSV	QPADEV0003	*STD	5	4/12/01 9:46
BIL6300	QSECOFR	MIXSV	BIL630	*STD	2	5/12/01 18:52
ACR520	QSECOFR	MIXSV	ACR520	*STD	4	5/12/01 18:52
QPJOBLOG	QSECOFR	NABASV	QPADEV0003	*STD	2	1/11/01 12:1 +
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

上記画面より F10=続行を選択した後、F3=終了、または F12=取消で処理を終了します。

(6) PC 側の WilComm Server、WilFile 起動



PC 側にて WilComm Server、Wilfile を起動すると上記のように指定されたフォルダーのスプールファイルが保管されます。

以上で操作は終了です。